

イエスは…「深みに漕ぎ出して、網をおろして  
 魚をとりなさい」と言われた。…「…おことばどおり、  
 網をおろしてみましよう。」そして、そのとおりにすると、  
 たくさんの魚が入り、網は破れそうになった。

(ルカ5:3～6)



ハレルヤ！ 皆さんにご参加、お祈りいただきました「チア・コンベンション2018」は大阪／東京会場共に神様の恵みと憐みの中で祝福されて終えることができました。大阪の参加者は350名、東京は485名あまりで、合計835名もの皆さんが駆けつけ、神様の言葉や聖書にある子育て、次世代の育成に心を向けることができました。たくさんの喜びや感謝の声をいただき、今朝も手紙が届き続け、とてもうれしいです。イエス様を讃えると共に、皆さんのご協力、サポートに、重ね重ね感謝をお伝えいたします。

今、事務局は3年ぶりのサマーキャンプにギアチェンジ。神様の新たな深い祝福の場を提供できるように励んでいます。過去2年は国会での新しい法案関係の働きが許され、順延とさせていただき、祝福された法律の施行となりました。来夏からも法律面に加え、様々な戦いや新しい展開も予想され、次回はやはり3年後の2021年夏の可能性が高いです。導かれる皆さんは、今夏のチャンスを活かし、ぜひご参加を、また来られない皆さんは深き祝福のお祈りのほど、どうぞよろしくお祈りいたします。

皆様へのますますの祝福を祈っています。

チア・につぼん代表 稲葉 寛夫

## スタンディングオベーション

東京会場でのフィナーレでは、チルミニ賛美で、250名あまりの子どもたち（スタッフ、LITを入れると300名を超える皆さん）が、息ができなくなるぐらい心からの賛美を献げ、会場が総立ちとなり、スタンディングオベーションとなりました。

「もう1回、聞きたい気持ちもあるけど、きつと疲れたよね？」と聞くと「疲れてないよ」「歌えるよ」「もっと、歌いたい」と子どもたち。

「それって、アンコールお願いしてもいいってことなのかな？」「そうだよ」「歌いたいよ」「え、じゃあ、アンコールお願いしようかな？」「いいよ！」「じゃ、よろしく！」ということでアンコール。

これまで19年間、チルミニ賛美は、春（大阪・東京）と秋の白馬で約50数回を重ね、毎回胸を打たれます。でも、今回みんなが自然に立ち上がって手拍子したくなる、何か、とりわけワクワクしてしまう、突き上げるような感動と力と希望を感じました。全員スタンディングオベーションとなったのは、これまで2回ぐらいかな、、、すごいなーと思い、「19年、50数回の歴史のベスト3に入ると思う！」と伝えました。基調講

演者の皆さんもそれぞれ感動を分かち合い、神様は「未来の日本」を先取りして見せてくださったような気がしました。

コンベンション後、たくさんの皆さんが、今回のコンベンションへのコメントを寄せてくださいました。「天国のような気がした」「同志というか、まさに親戚のような感じでホッとしました」「久々に来ましたが、成長を見れて励まされた」「初めて表彰式を見ましたが、感動した。70名近くの子どもたちがうれしそうで、礼儀正しかったし、上からの関係ではなく、なんかユーモアもあり、とても良かった」「父親が、霊的なリーダーの責任者であることを重く受け止めた」「学力、受験等に心を奪われがちだった。改めて何のためのホームスクーリングか、キリストの弟子の心を与えることに基本を置くことを再確認し、軌道修正し、勇気がわいてきた」「子どもたちを祝福する祈りの必要に目覚め、気づく度に実行しています」「普通の会話の中で、チアのためにも祈ろうという声を聞けてうれしかった」等々。頂くコメントは年々、長さも深さも増えていて、励まされ、心から感謝しています。

皆さんからの声、様々なご提案を、来年以降の企画にも活かしていければと思っています。3回にわたって掲載できればと思っています。



300人の歌声が会場を揺らしたチルミニ賛美